

平成23年度

第6回 建設業社会貢献活動推進月間中央行事 開催される

社団法人 全国建設業協会

1. はじめに

地域の建設企業は、地域経済を支える基幹産業として、良質な社会資本整備の提供と雇用の維持・確保はもとより、災害時における応急復旧活動をはじめ、環境美化、保全活動への取り組み、地域住民との交流等、地域社会の一員として真摯に社会貢献活動に取り組んでいる。

本会では、地域の建設業が実施している活動や、公共事業の正しい理解と認識を国民・社会に広くアピールすることを目的に、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、パンフレットの作成・配布や、中央行事の開催など様々な活動を展開している。

2. 建設業社会貢献活動推進月間中央行事

「建設業社会貢献活動推進月間中央行事」は平成18年度から毎年開催されており、今年で6回目となる。例年、各都道府県建設業協会の会長を

はじめ、功労者表彰の受賞協会、支部と会員企業を招き、国土交通省幹部、関係団体の役職員など200名が参加し開催している。

今年度は去る7月28日に東京・大手町の経団連会館で開催され、中央行事では、はじめに浅沼会長が東日本大震災の復旧・復興に当たっている会員企業に敬意と謝意を表すとともに、「建設業界はどのような厳しい状況であっても、国民の安全・安心を守り、地域経済を支え、地域の雇用を確保するという社会的使命を果たし続けなければならない。そのため、日頃より適正な事業活動に取り組み、建設業の社会的責任を認識し、真摯に取り組むことが重要だ」と挨拶した。国土交通省の大森建設流通政策審議官は、「震災発生直後から、人命救助や応急復旧活動の様子が、メディアでも報道され、建設業界が見直されていると思う。今後もCSR活動を通じて、社会に貢献して頂くことを祈念している」と挨拶された。

続いて社会貢献活動の功労者表彰式と、表彰された協会（支部・地区協会・部会など）、会員企



浅沼全建会長



大森建設流通政策審議官



中央行事の様様

業から、代表的な2事例を取り上げての事例発表が行われた。その後、作家の曾野綾子氏による記念講演に続いて、記念懇親会を開催した。

(1) 建設業社会貢献活動功労者表彰式

各都道府県建設業協会、支部・地区協会、会員企業が取り組んでいる社会貢献活動（災害復旧支援活動、防災支援活動、環境美化活動、環境保全活動、建設業ふれあい活動、社会福祉活動、建設業のイメージアップ活動）に対して第3条関係で21協会、支部・地区協会と、第4条関係では29会員企業が表彰され、浅沼会長から賞状と記念品が贈られた。



表彰式

[規程第3条関係] (21協会・支部等)	
(災害復旧支援活動)	
岩手	社団法人岩手県建設業協会 盛岡支部
長野	社団法人長野県建設業協会 飯山支部
(防災支援活動)	
栃木	社団法人栃木県建設業協会 芳賀支部
群馬	社団法人群馬県建設業協会 会長 青柳 剛
滋賀	社団法人滋賀県建設業協会 会長 辻野 宜昭
(環境美化活動)	
栃木	社団法人栃木県建設業協会 足利支部
長野	社団法人長野県建設業協会 伊那支部

三重	社団法人三重県建設業協会 志摩支部
石川	社団法人白山・石川建設業協会
山口	社団法人山口県建設業協会 山口支部
高知	社団法人高知県建設業協会 高知支部
(環境保全活動)	
秋田	社団法人平鹿建設業協会 建青会
(建設業ふれあい活動)	
茨城	社団法人茨城県建設業協会 会長 岡部 英男
新潟	社団法人新潟県建設業協会 長岡支部
石川	社団法人加賀建設業協会 土木委員会
兵庫	社団法人兵庫県建設業協会 淡路支部青年部会

(社会福祉活動)	
高知	社団法人高知県建設業協会 中村支部
佐賀	社団法人建設業協会佐賀
(防疫活動)	
三重	社団法人三重県建設業協会 伊勢支部
三重	社団法人三重県建設業協会 熊野支部
奈良	奈良県建設業協会 五條支部

[規程第4条関係] (29社)	
(災害復旧支援活動)	
北海道	茅沼建設工業 株式会社
鹿児島	株式会社 新町組
(防災支援活動)	
北海道	宮坂建設工業 株式会社
青森	田中建設 株式会社
(環境美化活動)	
北海道	株式会社 瀬越組
青森	丸井重機建設 株式会社
青森	株式会社 南建設
宮城	阿部建設 株式会社
秋田	株式会社 大沼組
群馬	石川建設 株式会社
静岡	株式会社 井出組
静岡	常盤工業 株式会社

静岡	須山建設 株式会社
京都	玉井建設 株式会社
兵庫	株式会社 川嶋建設
和歌山	株式会社 東組
島根	株式会社 佐藤工務所
岡山	株式会社 三幸工務店
広島	大之木建設 株式会社
(環境保全活動)	
富山	東城建設 株式会社
	大高建設 株式会社
	株式会社岡部
	株式会社関口組
滋賀	株式会社 桑原組
(建設業ふれあい活動)	
北海道	草野作工 株式会社
福島	菅野建設工業 株式会社
富山	此川建設 株式会社
福井	坂川建設 株式会社
(社会福祉活動)	
北海道	開発工建 株式会社
北海道	萩原建設工業 株式会社
静岡	株式会社 中村組
高知	ミタニ建設工業 株式会社

(2) 事例発表

受賞者の中から、宮坂建設工業株式会社（北海道帯広市）、東城建設株式会社（富山県魚津市）の活動事例について事例発表を行った。（各事例の詳細については、次月号で紹介します。）

① 宮坂建設工業株式会社

『地域住民参加型の防災訓練活動』

平成5年から単独の防災訓練を行ってきたが、平成15年9月26日に発生した十勝沖地震（震度6弱）を契機に、協力会社や発注官庁、地元商店街などにも広く呼びかけ対外的に実施する地域住民参加型防災訓練に切り替え、防災訓練活動を行っている。訓練結果を踏まえ、災害時

には地域住民を守るため、より迅速に対応できるような体制を充実させ、大規模災害から地域住民を守るよう被災を念頭にした真剣な取り組み活動が続いている。



消火訓練（バケツリレー）宮坂建設工業株式会社

② 東城建設株式会社（大高建設株式会社・株式会社岡部・株式会社関口組との共同活動）

『学校ビオトープづくりへの取り組み』

「富山県ビオトープ研究会」の主要メンバーとして、富山県の自然をつなぐ学校ビオトープ作りに取り組み、多くの小学校においてボランティアで造成なども実施している。学校ビオトープをきっかけに子供たちや学校の先生だけでなく、PTA、地域住民、地元の学識研究者、さらに行政や企業等の『協力関係』が生まれている。



月岡小の学校ビオトープづくりの様子 東城建設株式会社

(3) 記念講演『國の姿－アフリカから－』

記念講演として、作家の曾野綾子氏を講師に招き、『國の姿－アフリカから－』と題し講演会を開催した。

曾野氏は冒頭で東日本大震災という今まで例をみない災害が起きたが、暴動もおきない被災地の



記念講演 曾野綾子氏

秩序ある姿は諸外国では考えられず、日本のそのような姿は素晴らしいと述べた。また、自らのアフリカでの支援活動を通じて、日本では当たり前にあると思いがちなライフラインがアフリカの国々ではまだ未整備なこと。そして、アフリカの厳しい自然環境の中、ありのままの自然とともに生活をしているアフリカの人々の力強い姿について、支援活動中に起こったハプニングなどのエピソードを交えながらおよそ1時間半にわたって講演された。

3. おわりに

建設業に対する国民の正しい理解は充分とはいえ、災害時にいち早く応急復旧活動を行っても、マスコミに報道されるのは自衛隊やNPO団体の活動が多く、建設業の復旧活動はあまり紹介されない現状にある。しかし、地域建設業の存在や取り組み、社会貢献活動などを広く国民にアピールするためには、受け身ではなく積極的にマスコミに報道を求めていくことが重要となってきた。

今後も社会貢献月間や様々な行事を通じて、建設業が取り組んでいる社会貢献活動を多くの人々に正しく理解していただけるよう、積極的にPR活動を行うこととしている。



記念懇親会乾杯挨拶 浅沼全建会長